



半は、^半で、“物”という意味の牛^{うし}と八^{ハチ}(分^{ぶん}かつという意味の部首)との会意形声字です。“物(牛^ウと勿^{フツ}との形声字)を真二つに分ける”という意味で、“半分”のことです。

判^ハは、“^リ”で切って半分にする”という意味の会意形声字です。音は半。昔、証書の類は、二つに切って、その一つをそれぞれが保管し、二つがぴたりと合うのを証拠としました。“真偽を判別する”という意味の“わかつ”ことです。裁判。批判。転じて“わり印”の意味から“印章”のことを判と呼ぶようになりました。

伴^ハは、英語の“ベターハーフ”の“ハーフ”に当たります。“二人一組の半分”という意味で、半と人とでできた形声字です。“つれ”“とも”と読みます。同伴。随伴。伴奏。

袷^アは、“上半分だけの衣”という意味の字で、上半身に着るシャツまたはブラウスのことです。半と衣との会意形声字です。汗を吸って濡れる意味の襦と合わせると、「^{ジュバン}襦袷」になります。

畔^ハは、“田^{でん}を分ける”境界の“あぜ”が本義です。田と半との会意形声字です。転じて“さかい”の意味に用いられます。「湖畔」は、湖と

陸地とのさかいの意味で、“ほとり”です。

拌^ハは、異なった物を手^てで半分に分ち、それぞれ半分になったものを“まぜ合わせる”という意味の字です。交(混じる)の意味の攪^{コウ}と合わせた「^{コウハン}攪拌」という言葉があります。普通「かくはん」と読まれています。